

**新潟医療センターニュース**

第1号

発行 JA新潟厚生連  
新潟医療センター  
発行責任者 田中憲一

当院で行う病院見学や看護体験参加者は、小学生から医療系学生まで様々です。明日の医療従事者を夢見る若人の瞳はいつもキラキラ輝いています。今回は新潟西高等学校十九名の生徒さんが訪れました。担当教諭の佐藤先生と、生徒さんにお話をお聞きしました。

**新潟県知事の依頼をうけ  
誕生した医療専攻**

本校の「医療専攻」は一昨年の秋に県知事からの「新潟県の医療現場の現状から、県内で働く医療従事者を増やしてほしい」という意向を受けてスタートしたコースです。今回見学に伺った二年生を含む二十一名が

第一期生となり、看護師、保健師、助産師、理学療法士、放射線技師を希望しています。

今年度は病院見学四回と講演会二回、その他にも医療現場の現状を記した本やNHKの番組などを視聴し、医療従事者としての心構えや必要な資質が身につくよう、励んでおります。

新潟医療センターでの見学



新潟西高等学校医療専攻・病院見学

**新潟県の医療を担う  
たまご達**

は、放射線科・リハビリ科・C3病棟でした。新しい発見が多くあり、生徒にとつて大変実りのあるものとなりました。病院見学では毎回プロフェッショナルな人々の話を聞くことができ、また女性も責任のある立場で生き生きと働いている様子を目にしました。生徒の意識もこの四月からだいぶ変わってきています。多くの方々のご期待も

受け止め、将来新潟県の医療現場で働けるよう生徒も教員も頑張っています。

医療専攻担当教諭

佐藤 直美

**病院見学を終えて**

今回の見学は院内見学と講話でしたが、皆さんにとっても丁寧な説明していただきました。

自分の志望する職種である診療放射線技師が使う機器についてや、技師の心構え、大事なことや知らなかったことも教わりました。例えばX線などの画像は最近ではフィルムレス化が進んでほとんどがデータ保存されるモニターで診断されていることなどです。

放射線のことでもよくわかりましたが、今まであまり興味はなかった看護やリハビリについても興味を持つことができました。医療の仕事にはとても多くの職種・業務があることがわかりましたし、笑顔の方が多かったのも印象的でした。

短い時間しか見学できませんでしたが、医療についてもっとよく知ろうと思いましたし、これから勉強を頑張っていこうと思えて本当によかったです。

中野 千尋

**理学療法士を目指して**

私は今、「理学療法士」という仕事に強い興味を抱いています。最初はただ漠然と就職難の

時代だから専門的な職業を、どうせなるなら人の役に立つ職業を、そして社会的ニーズの高い医療系の職種、ということでの職種にたどり着き志望しました。そしてちょうど学校に「医療専攻コース」があったので参加することになりました。そのプログラムの中に今回を含めいくつかの病院見学があったのですが、リアルな現場を見て自分が今まで持っていたイメージがらりと変わりました。



医療従事者を目指す医療専攻の生徒さん

**新任医師紹介**

●呼吸器内科部長

杵 刈 進 一

出身地 福島県喜多方市

抱負 国内旅行、テニス 呼吸器内科の常勤医師として着任いたしました。呼吸器内科全般の診療を行います。特に慢性閉塞性肺疾患(COPD)や呼吸リハビリテーション・睡眠呼吸障害などを専門としてきました。

COPDは主にタバコが原因となる肺や気管支の病気で、咳・痰・息切れなど、ありふれた症状から始まるので見逃されがちです。日本での



COPDの疑いがある方は四十歳以上の約十人に一人、五三〇万人と推定されていますが、実際に医療機関を受診しているのは約二十二万人に過ぎず、多くの方々がCOPDであることに気づいていません。長引く咳や痰、息切れでお困りの方は、お気軽にご相談ください。

わかりやすい説明と丁寧な診療を心がけて参りますので、よろしく願います。

これからの日本はどんどん高齢者が増えて行くので私達が支えなくてはなりません。私もその一人として社会に貢献したいと思えます。

中村 慎之介

# 私とオリンピックピック



## ●白黒テレビで観戦

第十八回夏季オリンピックピックが東京で開催されたのは一九六四年十月十日でした。当時私は大学三年生でした。この年は六月十六日十三時一分四十一秒に新潟地震が発生した年でもありました。地震当日は余震があり、アパートの前の広場で一晩家族と過ごした覚えがあります。大学の授業は一週間程休みとなり食料や水の確保に奔走しました。そんなこんなでオリンピックの記憶があまりはつきりしないのが現状です。

確か白黒テレビを買ってもしっかりと観戦した覚えがあります。最近テレビで当時のオリンピックで日本選手が活躍する場



面を観ると鮮やかに記憶が戻ってきますので、当時はそれなりに夢中になって観ていたようです。



今回東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックが招致され、アジアで最初に二回目が開催されることになりました。これを機会に日本とアジアと世界がより平和な関係になることを祈っています。同時に福島放射能汚染対策促進のきっかけになることが大切です。

健診センター長 小林 勲

## ●裸足のランナー

東京オリンピックピックが開催された一九六四年、私は高校三年生であった。十月で大学受験を控えていたが、開期中の約二週間はほとんどテレビ観戦で過ごしたように思う。

開会式当日は快晴で高らかなファンファーレの響きと、昭和天皇の開会宣言、真っ青な空に飛び立った数千羽のハトの群れが印象に残っている。

日本人の金メダル第一号は重量挙げの三宅義信選手で、これではずみのついた日本選手団は



ホームの利もあり多くのメダルを獲得した。印象に残った外国人選手と言えば女子体操チャスラフス力選手の華麗な演技、柔道アントン・ヘーシンク選手の圧倒的な体力と筋力。マラソンアベベ選手の修行僧のような静かな走りなどが挙げられる。中でもアベベ選手は苦しい表情一つ見せずに圧勝した。前回のローマ大会は裸足で走って優勝しておりオリンピックマラソン二連勝であった。日本の円谷選手は二位で競技場に戻ってきたが、トラック勝負でイギリスの選手に敗れ銅メダルとなった。円谷選手は後に自殺したが、この事と関係があったのか定かではない。同じ年の秋、自校の駅伝大会が行われたが、私はアベベ選手を真似て裸足で走ってみた。猿真似はしてはいけないと



笑顔が  
あふれて  
赤ちゃん誕生にお祝善の華



四月より産科棟が開設されました。栄養科では出産された患者さんに栄養の過不足なく、



少しでも喜んで食べて頂けるよう産科食に力を注いでいます。又、入院中一回お祝膳も食べて頂いています。『赤ちゃん誕生!』の知らせを受けると私たちスタッフも笑顔になります。これからも患者さんの感想を聞きながら、さらに充実した食事を作りたいと思います。

## 編集後記

この秋、病院の南口玄関に「命のサガオ」が咲き乱れました。白血病でなくなった光祐くんが育てた朝顔の種が、様々な場所で花開いています。



今月号から発行元が厚生連労組から病院に変わりました。これまで同様に充実した病院情報をお届けいたします。(大橋)

本間 憲治

あと七年後に再びオリンピックピックがやってくる。運良く生き永らえていたら、ドーピングなど関係ない、鍛え上げられた身体能力と技術の勝負をじっくりと観戦し、沢山の感動に浸りたいものである。

リハビリテーション科部長